

観光振興について問う!



横山 育男 議員

問

JR新駅開業、東京オリンピック・パラリンピック、いちご一会とちぎ国体など、目白押しの大イベントにおける観光誘客にどのように取り組むのか。

市長

この機会を捉えて四季折々の足利の魅力を積極的に発信し、「また足利を訪れたい」と思われるような企画を実施したい。足利の観光を次のステージに上げ、市民みんなで観光に取り組む地域づくりにつなげていきたい。

◆時期を逸さない第二弾の刀剣展の開催

問

平成29年3月に開催された山姥切国広展は、若い女性客を中心に1カ月の間まちにぎわいを見せた。市民や商業会、刀剣ファン待望の第二弾の刀剣展の開催について、展望を聞きたい。

市長

熱心な刀剣ファンの要望に応える展示を十分検討するとともに、展示に対する文化庁の指導、そして何より刀剣所有者の意向を尊重し、進めたいと考えている。今後ファンとのつながりを大切にしながら、本市とゆかりの刀剣の研究を深め、魅力をより一層引き出す企画展示の実現に向けて検討していきたい。



▲平成29年3月に開催された山姥切国広展でのにぎわいの様子

持続可能な社会保険制度の確立を!



大谷 弥生 議員

問

生活支援コーディネーターは、介護予防・日常生活支援総合事業に掲げられた「助け合い活動の創出とネットワーキング」の体制整備に欠かせないが、配置や協議体の設置の見通しを聞きたい。

健康福祉部長

同コーディネーターは地域の支え合い活動を調整する役割を担うため、配置については地域の話し合いの中で決めていただく予定である。地域での話し合いを継続しながら、地域力を生かした支え合い活動へとつなげていく。



▲北郷地区における協議体の話し合いの様子

◆保険者努力支援制度の前倒し

問

平成28年度に実施した保険者努力支援制度前倒しの結果を踏まえ、特定健康診査などの受診を促すための取り組みとして、保健事業のうち補助事業をインセンティブ事業へ組み替えるのとことであるが、どのような内容なのか。

生活環境部長

特定健康診査と歯周疾患検診に加え、現在6種類行っているがん検診のうち2種類以上受診した方を対象に何らかのインセンティブが働くような仕組みをつくり、被保険者の健康増進と医療費の適正化につなげたい。

糖尿病の重症化予防対策について問う!



富永 悦子 議員

問

本市の糖尿病患者の現状と課題、未治療者への対策について聞きたい。

健康福祉部長

本市の医療費に糖尿病が占める割合は全国や県と比較しても高く、ここ数年増加傾向にあり、その対策の推進が課題となっている。未治療者への対策では、これまでの糖尿病重症化予防事業に加え、今後は健康マイレージ事業をはじめとした地域ぐるみの健康づくりや、ライフステージに応じた啓発の取り組みを通し、生活習慣病の発症と重症化の予防を推進していく。



◆マイナンバーカードの交付状況と今後の普及推進策

問

マイナンバー制度による情報連携が開始された。行政手続きにおける添付書類の省略など、市民の負担が軽減されると考えるが、マイナンバーカードの今後の普及推進策について聞きたい。

総務部長

同カードが公的な身分証として利用できることや、各種証明書などのコンビニ交付手続きの利便性、マイナンバーポータル(個人番号)に関する政府のオンラインサービス)の活用について周知するなど、同カードの普及に取り組んでいく。